

# No. 1437

## 徳川歴代藩主展

— 愛 知 ・ 名 古 屋 —

愛知県名古屋市の徳川美術館では今、尾張の殿様ゆかりの品を集めた徳川歴代藩主展が開かれています。

この特別展は、尾張藩士だった上田家の末えいで現在京都市に住む上田武雄さんが、先祖から伝わった品々を徳川美術館に寄贈したことから実現。徳川家初代から仕えた上田家ゆかりの品々は細かいメモまで残っており大名と家臣の実態を解きほぐす貴重な資料といわれています。この展覧会は9月26日まで開かれています。

## 救助が使命

— 神 奈 川 ・ 横 浜 —

神奈川県横浜市の埋立地にある横浜ヘリポート。このヘリポートに横浜市消防本部の航空部があります。これは空のレスキュー隊とも云えるもので全国ではここにしかありません。本格的にヘリコプターを使用して活動を始めてから約一年、現在は20名の隊員が災害救助に備えて厳しい訓練を続けています。訓練は実際の救助活動はもちろん航空機の理論や誘導などももり込まれ、出動現場でパイロットと対応できるように行われています。実際にヘリコプターを使っての訓練の前にまず地上で訓練が行われます。高さ20メートル、飛行場灯台をかねて作られた訓練塔。最上部はヘリコプターのキャビンを型どってあります。次々に降下する隊員たち。降下訓練は早さかつ正確さが要求されるだけに隊員たちは真険そのものです。長い間の地上訓練を経ていよいよ今日はヘリコプターを使用する訓練です。上昇するヘリコプター、高度20メートル。パトロールとの呼吸を合わせて次々に降下する隊員たち。この訓練をマスターするともう一人前の空のレスキュー隊員です。8月19日横浜市の消防訓練センターで第11回全国消防技術大会が開かれました。これは全国の消防レスキュー隊の技術の向上と救助体制を強化するのが目的で、北海道から九州まで9ブロックの選手約2,000人が参加しました。横浜市消防本部航空部も関東ブロックから予選を通過して出場しました。参加選手を代表して選手宣誓をする航空部の鴨志田誠隊員。競技は陸上と水上に分かれ、陸上ではロープブリッジ、ハシゴ登はんなど9種目が行われました。これはハシゴとはんの競技。垂直なハシゴを15メートル登り、その確実性と所用時間が評価されます。水上競技では水中検索などやはり9種目が行われました。全国から選び抜かれた選手だけにあらかじめ各種目にセットされたタイムを大きく縮めました。早さを競うのが目的ではないこの大会では標準タイムを切るのみならず入賞ということになります。いよいよ航空部の隊員たちの出番です。選手宣誓をした鴨志田隊員をはじめ4名が参加した高所人命救助。この競技の標準タイムは95秒です。結果は35.6秒の最高タイムで入賞しました。入賞者を代表して表彰を受ける航空部の隊員たち。昭和55年だけでも消防レスキュー隊の出動は全国で1万件を越えています。救助の使命を胸に訓練に励む隊員たちその活躍が期待されます。